

実 施 案 内

【水上の部】

目

次

	ページ
【実施内容】	
1 日 時	1
2 場 所	1
3 主 催 等	1
4 運営体制	1
5 訓練項目・参加隊員数	1
6 次 第	1
【運営関係】	
1 会場案内	1
2 駐 車 場	2
3 服装・受付等	2
4 都県連絡員の任務等	3
5 指導会中止時の連絡等	4
【訓練関係】	
1 訓練関係	4
2 ウォーミングアップ	4
3 審判員の任務等	4
4 訓練結果	5
5 表彰状の受領について	5
6 訓練資機材の搬入等	5
7 訓練場内への立入制限等	5
8 施設開放訓練について	5
【その他】	
1 昼 食	5
2 写真及び動画の取扱い	6
3 調査票の回答等	6
4 そ の 他	6
【別図等】	
1 別図1～3 水上会場詳細図	8

2	別図 4	会場案内図	11
3	別表 1	訓練進行表	12
4	別表 2	審判員訓練種目分担表	13
5	別添 1	訓練進行要領	14
6	別添 2	訓練施設概要	22

【様式】

1	様式 2 - 1 ~ 5	出場隊員名簿	23
2	様式 3	隊員変更届出書	29
3	様式 6	訓練施設開放参加調査票	30

第54回消防救助技術関東地区指導会（水上の部）実施案内

【実施内容】

- 1 日 時
令和8年7月17日（金） 9時50分から13時30分まで（小雨決行）
- 2 場 所
県営大宮公園水泳場（さいたま市大宮区高鼻町4丁目地内）
- 3 主催等
 - (1) 主 催 一般財団法人全国消防協会関東地区支部
 - (2) 後 援 全国消防長会関東支部
 - (3) 主 管 埼玉県消防長会
- 4 運営体制
 - (1) 指導会役員
 - ア 会 長 一般財団法人全国消防協会関東地区地区支部長
 - イ 副会長 一般財団法人全国消防協会関東地区支部都県支部長
 - (2) 指導会委員 参会消防長
 - (3) 審判役員
 - ア 審判長 さいたま市消防局長
 - イ 水上審判部長 横浜市消防局警防部長
 - ウ 審判員 各都県担当消防本部職員
- 5 訓練項目・参加隊員数
「第54回消防救助技術関東地区指導会出場割当表」のチーム数及び参加隊員数は下表のとおりです。

訓練種別	水上の部		
	訓練種目	チーム数	隊員数
連携	溺者搬送	20	40人
	人命救助	14	42人
	溺者救助	18	54人
	水中結索	18	54人
	水中検索救助	14	56人
合計	246人		
技術			

※ 水上の部技術訓練は、全国大会での出場割当が関東地区支部にないため実施いたしません。

- 6 次 第
進行は別表1「訓練進行表」のとおりです。
※ 水上会場では開閉会は実施しません。

【運営関係】

- 1 会場案内
 - (1) 更衣場所（別図1参照）

隊員の更衣は、地下1階の各更衣室を御利用ください。

なお、室内での休憩（飲食含む）及び荷物等の持ち込み、保管、ロッカーの使用は禁止とします。

(2) ウォーミングアップスペース

50mメインプール及び25m補助プールを使用してください。

(3) 見学場所（別図3参照）

「2階スタンド席」を御利用ください。

(4) 救護所

救護所を建物内に開設します。

(5) 隊員待機場所

地下1階建物裏手「隊員待機場所①」（別図1参照）及び1階「隊員待機場所②」（別図2参照）を使用してください。

(6) トイレ

地下1階建物内「消防長・訓練待機時用トイレ」及び「消防長・運営担当員用トイレ」（別図1参照）、1階東西2箇所（別図2参照）を使用してください。

2 駐車場

(1) 駐車場は別図4に示すとおり第1、第2駐車場を使用し、車両区分等については、次の表のとおりとします。

※ 周辺道路混雑緩和のため開門時間より前に来場しないようにしてください。

(2) 第2駐車場から第1駐車場までピストンバスを運用しますので、参加隊員の方は適宜御利用ください。運行時刻は定めず、定員になり次第出発します。

車 両 区 分	開門時間	駐 車 場	駐車券
・消防長 ・運営担当員	6:00~	第1駐車場 (水泳場西側バス駐車場)	あり
・資機材積降場 ・ピストンバスロータリー	6:30~	※大型車両乗り入れ不可	
・参加隊員 ・運営担当員 ・ピストンバス発着場	6:00~	第2駐車場 (大宮第二公園第1駐車場)	あり

(3) 申し込み

ア 第1駐車場及び第2駐車場の利用を希望する場合は、P6【その他】3 調査票の回答等に記載のとおり報告してください。

状況に応じて、台数の制限を行う場合がございますので御了承のうえお申し込みください。

イ 駐車場の利用申込みを行った消防本部には、事前に「全国消防長会情報管理システム」により駐車券を送付します。駐車券は印刷のうえ持参し、ダッシュボード上など、係員から見える位置に置いて御入場ください。駐車位置については係員の指示に従ってください。

(4) その他

ア 会場周辺の道路は全て駐車禁止です。**路上駐車は絶対にしないでください。**

イ 見学される方は、公共交通機関を御利用ください。

3 服装・受付等

(1) 服装及び受付時間等は、下表のとおりです。

※ 運営担当員については別途通知します。

参会者	服装	胸花等	受付時間・場所
指導会役員 審判長 審判部長	夏制服、夏制帽、短靴	○	8：00～ 本部受付
指導会委員 (参会消防長)	指定なし	○	
随行者	指定なし		
審判員	各本部のポロシャツ又は半袖活動服、活動服ズボン、略帽、運動靴		8：00～ 本部テント
都県連絡員	各本部のポロシャツ又は半袖活動服、活動服ズボン、略帽、運動靴		7：30～ 隊員受付
参加隊員	「第54回全国消防救助技術大会実施要領」に定める服装		7：30～ 8：30 隊員受付

※ プールサイドは土足厳禁となりますので御注意ください。

- (2) 消防長（又は代理）が参会する場合は、P6【その他】3 調査票の回答等に記載のとおり「全国消防長会情報管理システム」により報告してください。
- (3) 受付は、参加隊員が7時30分から会場スタンド席裏側「隊員受付」にて、指導会役員、指導会委員、報道関係は8時00分から会場西側「本部受付」で実施します。（別図1～2参照）
- (4) 隊員受付は、各消防本部の代表者が行ってください。その際に、名簿で出場隊員を確認します。
- (5) 隊員の変更は原則として認めません。ただし、負傷等やむを得ない事由が発生し、審判長が認めた場合に限り、変更できるものとします。この場合、指導会当日の隊員受付時に隊員変更届出書（様式3）を提出してください。
なお、隊員を変更した場合、隊員名簿には反映できません。

4 都県連絡員の任務等

(1) 隊員受付

7時30分から8時30分まで、出場隊員の確認及び隊員変更の受付を行い、関東地区指導会参加記念品（メダル）等の配付を行ってください。

(2) 隊員の集合状況の確認及び招集

訓練の際の隊員集合状況の確認と必要に応じて招集を行ってください。水上の部につ

いては、必要に応じて代表受賞者を訓練終了後に陸上会場へ移送するため、代表受賞者が決定し次第、消防本部へその旨連絡して下さい。

(3) 指導会中止時の連絡

指導会中止時に、各参加消防本部代表者へ連絡してください。

(4) その他運営に関すること

ア 上記以外で開催地事務局からの依頼事項について、御協力をお願いします。

イ 指導会当日は、宿泊施設から指導会会場まで専用バスを運行します。

ウ サンプリングで提供される飲料水を参加隊員、審判員及び都県連絡員に各1本配付してください。

5 指導会中止時の連絡等

(1) 指導会は小雨決行としますが、荒天の場合は中止とします。

(2) 中止の場合は、6時00分までに、各都県連絡員へ連絡をします。各都県連絡員は事前に各参加消防本部代表者との連絡体制を確立しておいてください。

【訓練関係】

1 訓練実施要領

(1) 訓練は、「第54回全国消防救助技術大会実施要領」（以下「実施要領」という。）に基づき実施します。

(2) 訓練進行については、別添1「訓練進行要領」のとおりです。

(3) 訓練施設については、実施要領に準じて設置しますが、その詳細は別添2「訓練施設概要【水上の部】」のとおりです。

2 ウォーミングアップ

ウォーミングアップは、下表の時間においてメインプールで実施できます。時間については、種目ごと使用時間を割り振りますので、規定時間内に行ってください。

なお、メインプールについては、資機材等の使用制限はありません。

訓練種目	割り振り時間
①人命救助	8時40分～9時00分
②溺者搬送③水中結索	9時00分～9時20分
④溺者救助⑤水中検索救助	9時20分～9時40分

※ 上記の時間以外は会場東側の補助プールを使用することとし、補助プールでは訓練用資機材の使用は禁止とします。

3 審判員の任務等

(1) 「実施要領」に定める各訓練種目の審査基準項目に従い、訓練行動の審査をお願いします。

(2) 指導会当日の8時00分までに、審判員は本部テント内訓練役員席に集合してください。

(3) 審査担当訓練種目は、別表2「審判員訓練種目分担表」のとおりです。詳細は、7月16日（木）に開催する審判員・都県連絡員会議にてお知らせします。

(4) 指導会当日は、宿泊施設から指導会会場まで専用バスを運行します。

4 訓練結果

- (1) 訓練の審査に対する質疑・異議申し立て等は一切受け付けません。
- (2) 訓練結果は、会場内の成績掲示板及び消防救助技術指導会ホームページに掲載予定ですので御確認ください。

- (3) 減点の開示

減点項目の開示は、消防本部からの求めにより行うものとし、開示内容は「実施要領」に定める審査表の審査基準項目ごとに示します。

開示の方法は、開催日から30日以内に、開催地事務局宛に文書にてメール送付してください。開催地事務局よりメールにて開示します。

《送付先：saitama-kanto@city.saitama.lg.jp》

5 表彰状の受領について

各種目減点のない訓練組を入賞とし、表彰状を1枚配付します。配付については、訓練結果が発表され次第「隊員受付」で用意し配付しますので、消防本部ごとに受領してください。

※ 代表受賞の訓練組は、陸上会場の閉会式で表彰を行いますので「隊員受付」での受領は必要ありません。

なお、代表受賞の決定は、成績掲示板に掲示する訓練結果に表記するとともに、都県連絡員を通じて該当消防本部へ連絡します。

6 訓練資機材の搬入等

資機材の搬入は、指導会当日のみとなります。会場内へ車で直接乗り入れることはできませんので、必ず、資機材積降場所を利用し搬入してください。

なお、商業施設敷地内への駐車や、会場周辺の道路への駐停車（資機材積降及び隊員乗降を含む）は絶対に行わないでください。

7 訓練場内への立入制限等

- (1) 訓練場内（訓練エリア、事前点検場所）には、審判員、審査員等及び実施訓練種目の出場隊員以外の立入りを禁止します。

- (2) 訓練エリア内での写真及びビデオ等の撮影は、指導会記録担当、報道機関を除いて禁止します。撮影専用エリアはありません。2階スタンド席からの撮影は可能としますが、長時間にわたる場所取りや三脚の使用などは厳に慎んでください。

8 訓練施設開放について

訓練施設の開放については、次のとおりです。

令和8年7月8日（水）及び7月9日（木）両日とも10：00～15：30

開放日に訓練を希望する消防本部は、訓練施設開放希望調査表（様式6）により、開催地事務局あて回答してください。

なお、訓練施設開放は大型バスの乗り入れができませんので御注意ください。

※ 詳細については、別途通知します。

【その他】

1 昼食

水上の部に参加される方については、「第54回消防救助技術関東地区指導会」専用ホームページから注文可能ですが、13時頃の終了を見込んでおりますので原則不要です。

昼食を注文する場合は、各控室又は隊員待機場所等で食事を摂ってください。

なお、指導会役員、審判長、審判部長、指導会委員（参会消防長）及び随行者の昼食については、運営担当員から配布の案内をします。参加隊員の昼食については隊員受付にて受け取りをお願いします。運営担当員の昼食については別途案内します。

2 写真及び動画の取扱い

支部及び開催地事務局で撮影した写真及び動画は、各消防本部への情報提供やホームページ等で活用する予定です。

掲載等に支障がある場合は、開催地事務局まで御連絡ください。

3 調査票の回答等

各様式を「全国消防長会情報管理システム」にて各都県支部長宛て送付しますので、次表のとおり御回報ください。

出場隊員名簿に入力する氏名で、外字に該当する場合は、類似の漢字を使用し、外字での入力を行わないでください。（成績発表及び表彰状は類似の漢字を使用させていただきます。）

なお、回報いただきます隊員の個人情報については、隊員名簿等に掲載することになりますので、予め御了承ください。

また、隊員名簿については、とりまとめた後、最終確認でデータを送付します。確認以降は修正できませんので御了承ください。

名簿確認後にやむを得ず隊員を変更する場合は、P3【運営関係】3 服装・受付等(5)に従い手続きを行ってください。

様式	名称	回答期限・方法	
		各消防本部	各都県支部都市消防本部
—	駐車場利用及び指導会参会等調査	7月1日（水） 全国消防長会情報管理システム アンケート機能により報告	—
2-1~2-5	出場隊員名簿	各都県支部長都市消防本部が 定める期限・方法により報告	7月1日（水） 開催地事務局へメール
3	隊員変更届出書	名簿確認前は随時 開催地事務局へメール	—
6	訓練施設開放 参加調査表	7月1日（水） 開催地事務局へメール	—

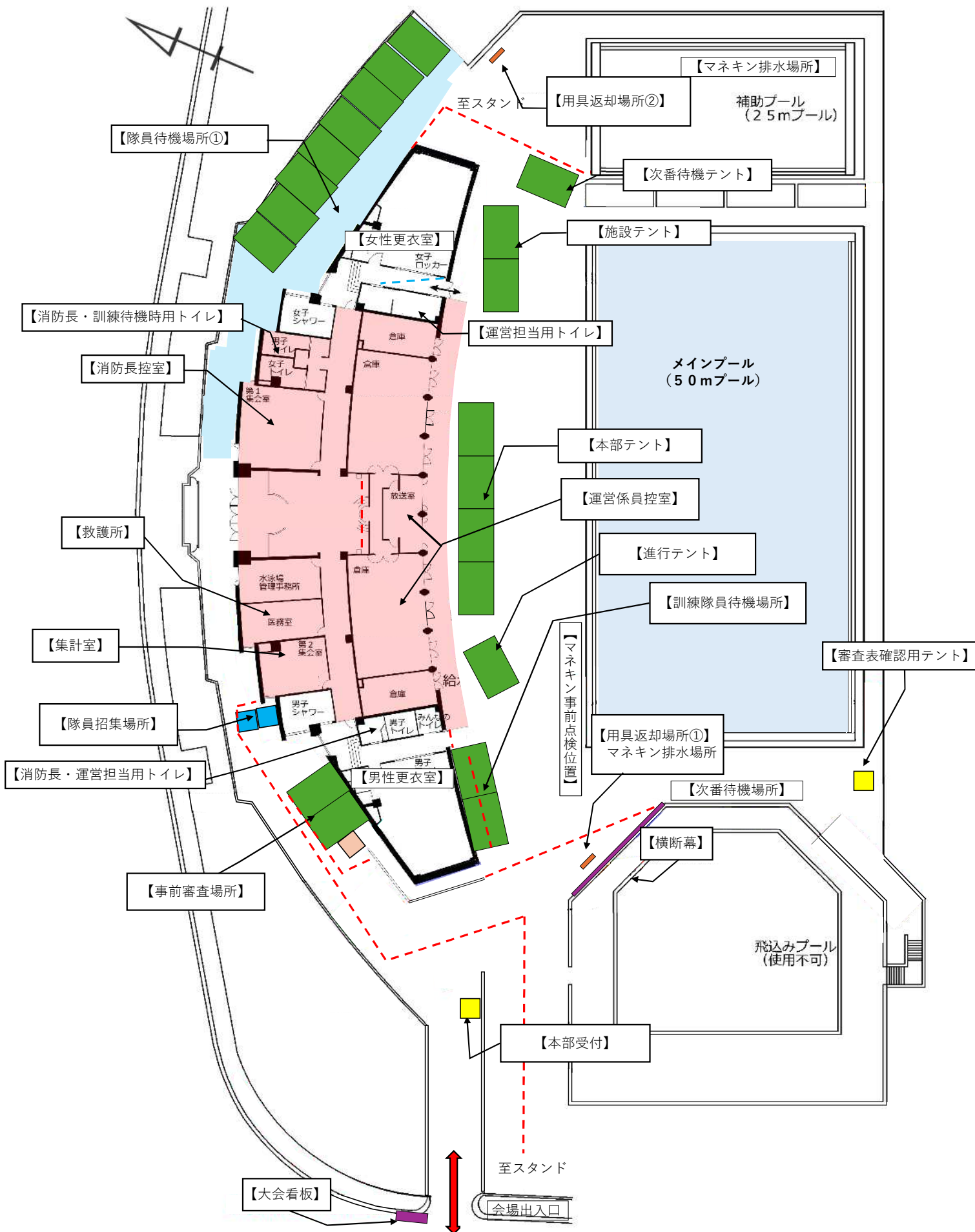
【回報先】 埼玉県消防長会消防救助技術指導会実行委員会
E-mail : saitama-kanto@city.saitama.lg.jp

4 その他

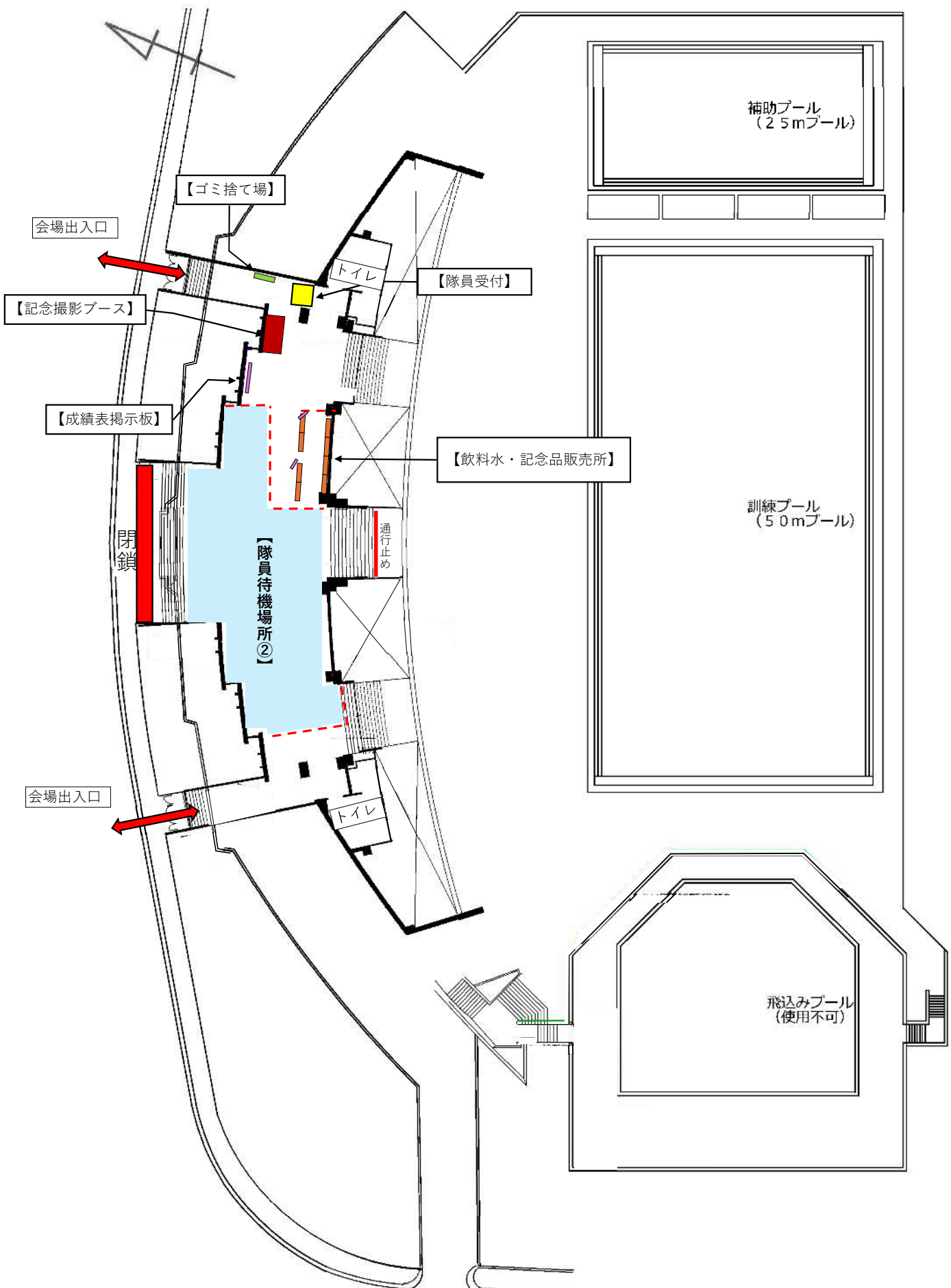
- (1) 会場内のすべてにわたり、飲酒及び喫煙は禁止とします。
- (2) 会場内へのテント（タープ）、椅子及びテーブル等の設置は禁止します。
- (3) 会場内では訓練運営に支障となる無線機、トランシーバーの使用を禁止します。
- (4) 立入禁止場所をカラーコーン等で指定しますので、厳守してください。
- (5) ゴミの持ち帰りに御協力お願いいたします。
- (6) 貴重品は各自責任を持って管理してください。

- (7) 開催地事務局で撮影した写真及び動画は、各消防本部への情報提供やホームページ等で活用する予定です。掲載等に支障がある場合は、開催地事務局までご連絡ください。

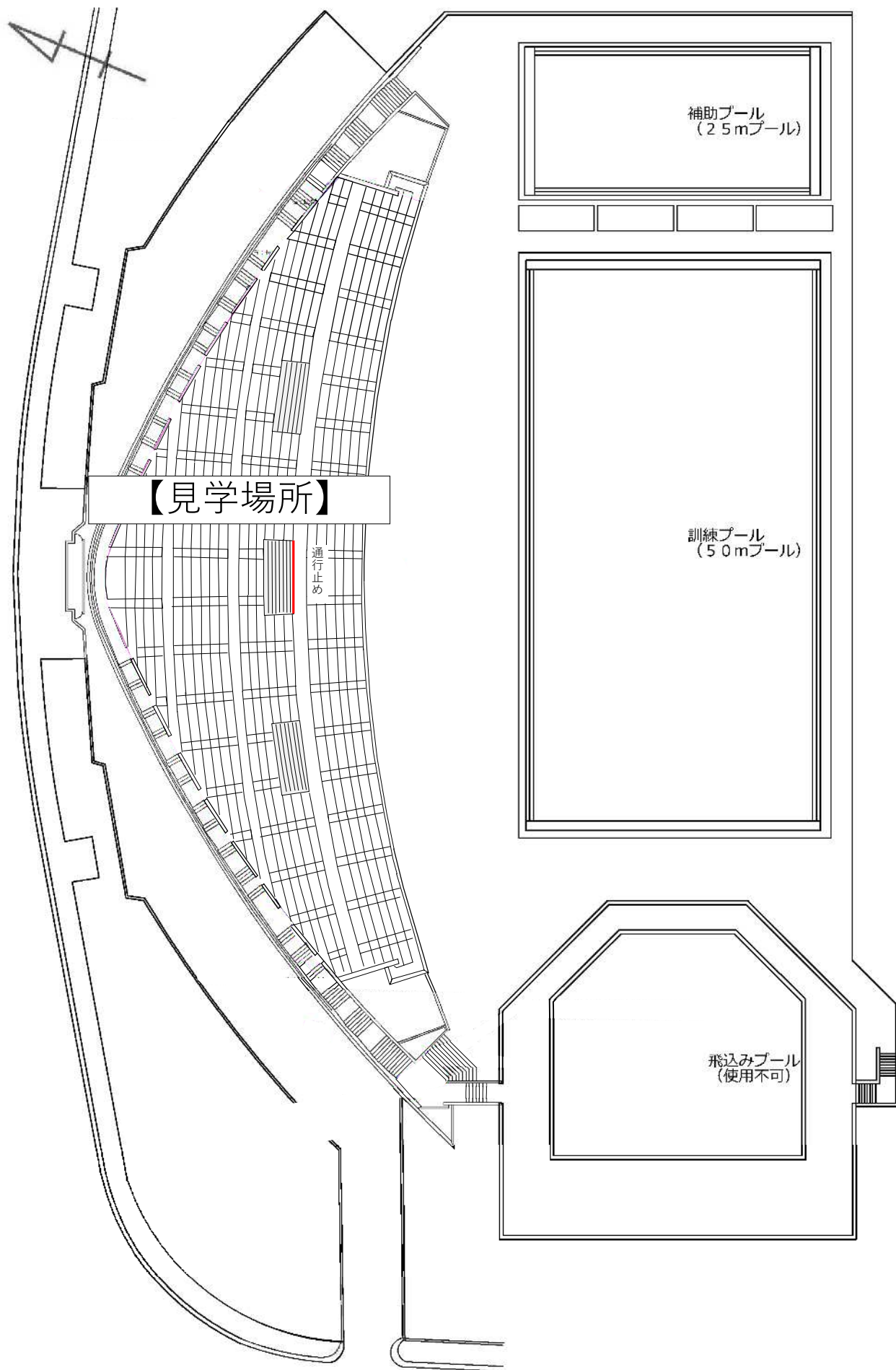
水上会場詳細図（水泳場配置・地下1階）



水上会場詳細図（水泳場 1階）



水上会場詳細図 (水泳場スタンド)



会場案内図【水上の部】



- 電車利用の場合 JR 大宮駅より、アーバンパークライン「大宮公園駅」下車徒歩5分
- 第2駐車場から第1駐車場までピストンバスを運用しますので、参加隊員の方は適宜ご利用ください。

訓練進行表

【訓練実施時間】

順序	開始・終了時刻	訓練種目
	7:40~	マネキン点検 ①人命救助
	7:55~	マネキン点検 ②水中検索救助
	8:40~9:00	ウォーミングアップ ①人命救助
	9:00~9:20	ウォーミングアップ ②溺者搬送③水中結索
	9:20~9:40	ウォーミングアップ ④溺者救助⑤水中検索救助
1	9:40~9:50	訓練準備
	9:50~10:30	人命救助
2	10:30~10:40	撤収・準備(10分)
	10:40~10:54	溺者搬送
3	10:54~11:04	撤収・準備(10分)
	11:04~11:46	水中結索
4	11:46~11:56	撤収・準備(10分)
	11:56~12:32	溺者救助
5	12:32~12:42	撤収・準備(10分)
	12:42~13:22	水中検索救助

【招集時間】

集合時刻	訓練種目
9:20	人命救助
訓練開始予定時刻の40分前	その他の種目

【訓練進行詳細】

	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30
ウォーミングアップ (人命救助)	8:40~9:00		【20分】								
ウォーミングアップ (溺者搬送・水中結索)	9:00~9:20		【20分】								
ウォーミングアップ (溺者救助・水中検索救助)	9:20~9:40			【20分】							
訓練準備	9:40~9:50			【10分】							
1 人命救助 (3コース8分×5組=40分)	9:20 集合		9:50	10:30		【40分】					
2 溺者搬送 (3コース2分×7組=14分)	10:00 集合		10:40	10:54		【14分】					
3 水中結索 (3コース7分×6組=42分)	10:24 集合		11:04	11:46		【42分】					
4 溺者救助 (3コース6分×6組=36分)	11:16 集合		11:56	12:32		【36分】					
5 水中検索救助 (3コース8分×5組=40分)	12:02 集合		12:42	13:22		【40分】					

- 1 訓練参加隊(員)数の変動により訓練時間が早まります。
- 備考 2 訓練の進行状況により訓練時間が早まる場合等、随時場内放送により連絡します。
- 3 水上部におけるウォーミングアップ時の用具の持ち込みは可能とします。

審判員訓練種目分担表

	陸上の部			水上の部				
	引揚救助	ロープブリッジ救出	障害突破	溺者搬送	人命救助	水中結索	溺者救助	水中検索救助
地区支部	1		◎					
群馬	2		事前					
栃木	◎							
茨城	事前	1						
千葉		2	事前	事前	○	事前	○	事前
東京		3		○	事前	○	事前	○
神奈川	事前	4						
山梨		◎						
長野		事前	1					
静岡		事前	2					
埼玉	○	○	○					

※◎は担当種目の統括、○は担当種目、数字はコースを示しています。

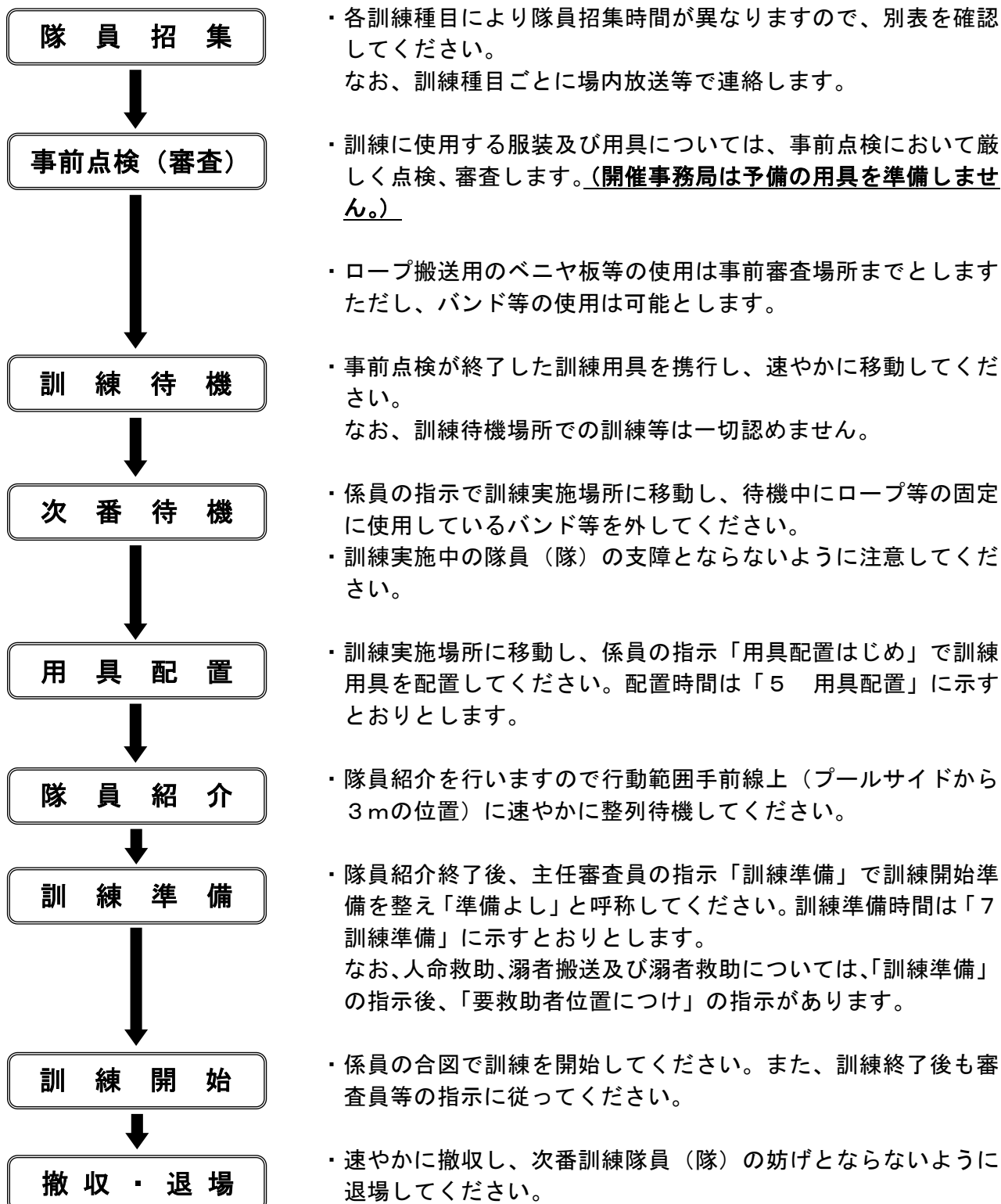
※事前は、事前審査中に疑義が生じた場合に対応するものとします。

※審判員の墜落制止用器具は、開催地が準備します。

訓練進行要領

【訓練進行概要】

各訓練の進行は下図のとおり実施しますので、訓練出場隊員は、次に定める行動内容をよく把握し、各係員の指示に従い、規律正しく迅速に行動してください。



1 隊員招集

- (1) 各訓練種目の招集開始は場内放送等で連絡します。
- (2) 訓練に出場する隊員は、訓練用具を携行し、隊員招集場所に集合してください。
- (3) 隊員招集場所に集合した訓練隊員は、必ず係員に集合報告を行い、指示に従ってください。
- (4) 係員が「出場組」、「訓練実施コース」、「消防本部名」及び「出場隊員氏名」等の確認を行います。
- (5) 他の訓練種目に重複出場のため、本人が集合できない場合は、代理の者（1名）が集合し、その旨を係員に報告してください。
- (6) 訓練の進行状況により招集時間に変更が生じた場合は、随時、場内放送等により連絡しますので注意してください。

2 事前点検

- (1) 招集完了後、事前審査場所に移動し、服装及び用具等の点検を実施します。
- (2) 事前点検の結果、不適正用具等を指摘された場合は失格処分とします。
なお、服装及び訓練用具の不良等を指摘された場合は、指示されたとおり是正してください。また、交換の指示を受けたものは速やかに交換を行ってください。
- (3) ロープの長さは事前に計測しませんが、訓練実施時に短い場合は訓練続行不可能と判断して審査員等が訓練を中止させます。
- (4) 訓練隊員のすべり止め剤及びテーピング（訓練行動を有利に導くための細工及び加工等が認められるもの）の使用は認めません。
- (5) マネキンの事前点検については、次のとおりとします。

ア 人命救助については7時40分、水中検索救助については7時55分から所定の場所（別図1参照）において実施しますので、速やかに搬送し、事前点検を受けてください。（マネキンの注水及び水没確認については、係員の指示に従ってください。）また、マネキンの胸部にガムテープ等を貼付し、「消防本部名」、「訓練種目名」、「出場組」及び「訓練実施コース」を事前に明記してください。

なお、事前点検終了後、マネキンは訓練に支障とされないプール底に保管します。

イ 胴体中央部の塗色ライン（幅約20cm）が著しく剥がれているもの及び故意によるマネキンの削り等の細工は認めません。

- (6) プールの水質保持のため、訓練用具の「汚れ」等の除去に御協力ください。
- (7) 訓練隊員は、事前点検終了後、係員の指示に従い行動してください。
- (8) 持ち込んだ服装及び用具が訓練直前で破損した場合は、代替え用具に速やかに交換してください。その場で点検を実施します。

3 訓練待機

- (1) 訓練待機場所では、待機場所からはみ出ることのないよう待機してください。また、この場所での訓練等は一切認めません。
- (2) 訓練待機場所から一時的にその場を離れる理由が生じた場合は、必ず係員に「理由」及び「行き先」等を申し出てから離れ、戻り次第、係員に報告してください。
訓練待機時のトイレは、「消防長・訓練待機時用トイレ」を使用してください。(別図2参照)
なお、訓練待機場所から離れた場合は、再度、事前点検を実施します。
- (3) 次番待機場所へは、係員の指示により移動してください。

4 次番待機

- (1) 訓練が終了するまでは、いかなる理由であってもこの場所を離れることは認めません。
- (2) 次番待機場所にある、私物入れ(カゴ)に服等を入れ、訓練実施場所へ係員の誘導に従い移動してください。
なお、持参した水筒等を次番機場所まで持ち込むことが可能であるため、事務局で会場に水缶等の準備は行いません。
- (3) 審査員が必要と認めた場合、訓練直前に再度、事前点検を行います。
- (4) ロープ等に固定しているバンド等については、次番待機時に外してください。

5 用具配置

- (1) 訓練用具の配置が必要な訓練種目については、係員の「用具配置はじめ」の指示で、「実施要領」の定めるとおりに用具を配置し、「用具配置やめ」の指示で、速やかに配置を終了してください。
- (2) 各訓練種目の用具配置時間を次のとおりとしますので、規定時間内に訓練用具の配置を完了させてください。

訓練種目	用具配置時間
人命救助 溺者救助	1分00秒

6 隊員紹介

- (1) 水難救助用具(フィン)については、隊員紹介時は着装せず、用具配置区域に置いてください。
なお、水中メガネを着装する場合は、前額部にずらして待機してください。
- (2) 上記、(1)の待機後及び用具配置終了後、隊員紹介を行いますので、プールに正対

して行動範囲手前線上（プールサイドから3mの位置）に整列してください。

- (3) 場内放送で「訓練種目」、「訓練組」、「訓練実施コース」及び「消防本部名」を紹介しますので、代表する訓練隊員（連携訓練については、最右翼の訓練隊員）は、その場で右手を垂直に挙げ、「はい」と答えてください。

なお、同組最終コースの隊員紹介が終了するまで整列で待機してください。

7 訓練準備

- (1) 同組最終コースの隊員紹介後、主任審査員の「訓練準備」の指示で訓練の準備をしてください。「人命救助」、「溺者搬送」及び「溺者救助」については、「訓練準備」の指示後、更に「要救助者位置につけ」と指示しますので、要救助者は速やかに待機位置に移動してください。なお、次のとおり訓練準備時間を定めますので、準備が整い次第「準備よし」と呼称してください。

また、連携訓練において「準備よし」と呼称する訓練隊員は、事前に開始準備確認の審査員に申告してください。

訓練種目	訓練準備時間
人 命 救 助 溺 者 搬 送 溺 者 救 助 水 中 検 索 救 助	1分00秒以内
水 中 結 索	15秒以内

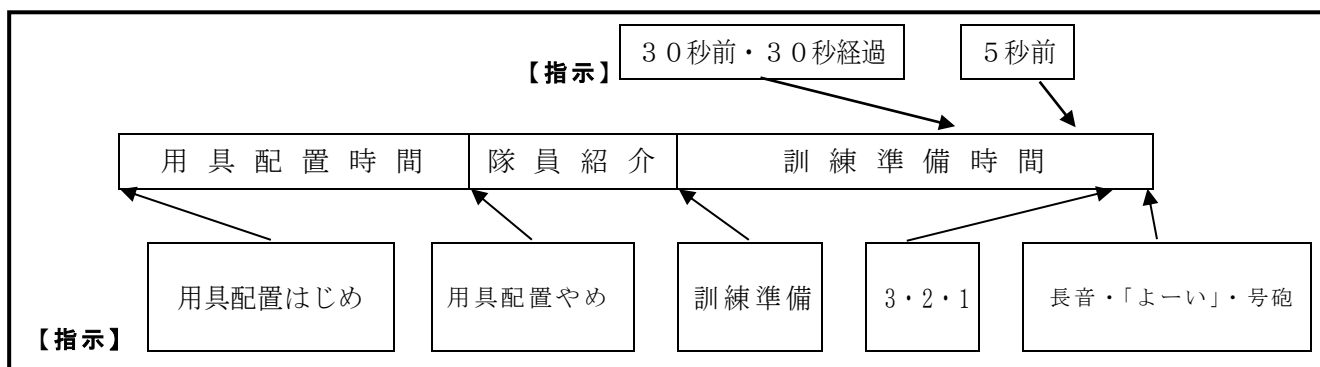
- (2) 訓練開始の合図前に係員から次のとおり指示があります。

訓練種目	指示内容
人 命 救 助 溺 者 搬 送 溺 者 救 助 水 中 検 索 救 助	主任審査員の「訓練準備」の指示後、 開始30秒前に「30秒前」の指示 開始10秒前に「10秒前」の指示 開始3秒前に「3、2、1」の指示
水 中 結 索	主任審査員の「訓練準備」の指示後、 開始5秒前に「5秒前」の指示 開始3秒前に「3、2、1」の指示

- (3) 定められた時間内に「準備よし」の呼称がない場合でも、訓練開始の合図（長音一声・「よーい」・号砲）となります。

なお、時間内に「準備よし」の呼称がない場合の訓練開始合図までの流れについ

ては、次のとおりです。



8 訓練開始

(1) 訓練開始の合図は、次の要領で行います。

- 【訓練準備】 … 各係員が旗をあげる。
- 【準備よし】 … 開始準備確認の審査員及び主任審査員が旗をあげる。
- 【ピー（警笛：長音一声）】 … 各係員があげた旗を降ろす。
- 【よーい】 … 訓練開始姿勢で静止する。
- 【号砲（ピストル）】 … 訓練開始

(2) 全ての訓練開始合図は、スタート用ピストルの号砲とします。

(3) 訓練開始時にフライングがあった場合も訓練を続行し、フライングのあった全ての個人又はチームは減点とします。

(4) 訓練開始合図のピストル号砲が、何らかの原因により鳴らなかった場合は、再スタートとしますので、訓練を開始しないでください。

9 撤収・退場

(1) 訓練終了（ゴール）後に実施する審査項目がありますので審査員の指示に従ってください。

(2) 訓練終了後は、次番訓練隊員（隊）等の妨げにならないよう係員の指示に従い、速やかに訓練用具を撤収し、退場してください。また、「小綱」及び「タオル」等については、係員が用具返却場所に搬送しておきますので、速やかに引き取りにきてください。

(3) マネキンの排水作業については、指定された排水場所で行ってください。（別図1参照）

(4) 事前点検時において訓練に必要なでない用具等を預けた訓練隊員は、事前審査員が用具返却場所①に該当用具等を搬送しておきますので、速やかに引き取りにきてください。

なお、指導会終了までに引き取りに来ない場合は処分させていただきます。

10 種目別訓練要領

(1) 共通

ア 訓練プールのコースは全9コースありますが、訓練で使用するコースについては、3コース、5コース及び7コースとします。

イ ウォーミングアップについて

(ア) 訓練プール（50mプール）を使用したウォーミングアップについては、「人命救助」に出場の訓練隊員は8時40分から20分間、「溺者搬送・水中結索」に出場の訓練隊員は9時00分から20分間、「溺者救助・水中検索救助」に出場の訓練隊員は9時20分から20分間のみとしますので、係員の指示に従い、定められたコースで実施してください。

なお、ウォーミングアップ時、訓練用具の使用を認めますが、予備のマネキンの使用については、認めません。

(イ) 補助プール（25mプール）を使用したウォーミングアップについては、訓練開始後に当該プールを開放しますので、訓練隊員は隊員招集時間を考慮して実施してください。

なお、補助プールを使用する際は、必ずスイミングキャップを着用してください。

(ウ) フィンを使用する訓練隊員は、事故防止のため、フィンの先端にビニールテープ等で保護処置を施してください。

ウ スタート台については、プール施設既存のものを使用しますが、スターティンググリップの使用は認めません。

エ 訓練開始前に服装及び用具等の再点検を実施します。

オ 救助ロープの一ひろ巻きで、端末ロープの巻き付け部が緩んでいる場合は、事前点検時及びスタート前に審査員等が締め直しを指示します。

カ 水難救助用具（フィン）の着装については、スタート台等に腰を掛けての着装は認めません。

キ 訓練は、所定の合図により開始します。

ク 連携訓練を終了した訓練隊員についても、自コースのスタート側又はゴール側から上がり、最終泳者のゴールに備えてください。

ケ 訓練終了後、係員の指示で速やかに退場してください。

(2) 人命救助及び溺者救助

ア 係員の「用具配置はじめ」の指示で1分以内に訓練用具を「実施要領」に定める要領で配置してください。

イ 係員の指示により、プールに正対して行動範囲手前線上で隊員紹介を受けてく

ださい。

ウ 同組最終コースの隊員紹介終了後、訓練隊員は主任審査員の「訓練準備、要救助者位置につけ」の指示で、速やかに訓練を開始する準備を整え、救助者及び補助者については「準備よし」と呼称して下さい。また、要救助者については、救助者又は補助者が「準備よし」と呼称する前に、速やかに所定の位置に移動して待機して下さい。

エ 「実施要領」に示す「溺者救助」における「自己コース」とは、訓練使用コースのコースロープ内側とします。

オ 「人命救助」の訓練隊員については、訓練終了後、マネキンを速やかに自コースゴール側より引き揚げて下さい。

なお、マネキンを再度、使用する場合については、引き揚げることなく係員に申告して下さい。

(3) 溺者搬送

ア 係員の指示により、プールに正対して行動範囲手前線上で隊員紹介を受けてください。

イ 同組最終コースの隊員紹介終了後、訓練隊員は主任審査員の「訓練準備、要救助者位置につけ」の指示で、速やかに訓練を開始する準備を整え、救助者については「準備よし」と呼称して下さい。また、要救助者については、救助者が「準備よし」と呼称する前に、速やかに所定の位置に移動して待機して下さい。

(4) 水中結索

ア 結索環の固定は、浮環結着部の1点がスタート側に向くとは限りません。

イ 係員の指示により、小綱を携行してプールに正対し、行動範囲手前線上で隊員紹介を受けてください。

ウ 同組最終コースの隊員紹介終了後、主任審査員の「訓練準備」の指示で、第1泳者は速やかに訓練を開始する準備を整え「準備よし」と呼称して下さい。

エ 訓練に使用した小綱については、訓練終了後に行う審査員による結索の審査終了後、係員が用具返却場所②に搬送します。

(5) 水中検索救助

ア 訓練隊員は、訓練待機場所及び次番待機場所へ係員の指示によりスタート側とゴール側に分かれて移動して下さい。

イ 係員の指示により、プールに正対して行動範囲手前線上で隊員紹介を受けてください。また、第2泳者については、ゴール側飛び込み台後方の足元にフィンを置き、隊員紹介を受けてください。

なお、他の泳者については、「6 隊員紹介(1)」で定めるとおりとします。

ウ 同組最終コースの隊員紹介終了後、主任審査員の「訓練準備」の指示で、速やかにフィン等を装着して第1泳者はスタート台に立ち、訓練を開始する準備を整

え「準備よし」と呼称してください。

- エ 訓練終了後、マネキンを速やかに自コースゴール側より引き揚げてください。
なお、マネキンについては、補助プールのマネキン排水場所に搬送します。

訓練施設概要

1 概要

- (1) 訓練プールの構造は、コンクリート製で全長50m、幅25m、コース幅2.5mで、プールの水深は、中央が2.0m、両端が1.75mとなっています。「【図1】施設概要図〈プール平面図〉」のとおりです。
- (2) 訓練プールは全9コースあり、そのうち、3・5・7コースを訓練に使用します。
なお、コースロープについては、使用コースのみ設定します。
- (3) 飛び込み台はプール両端にあり、細部の寸法については、「【図2】施設概要図〈飛び込み台側面図〉」のとおりです。

2 付帯設備

水中結索

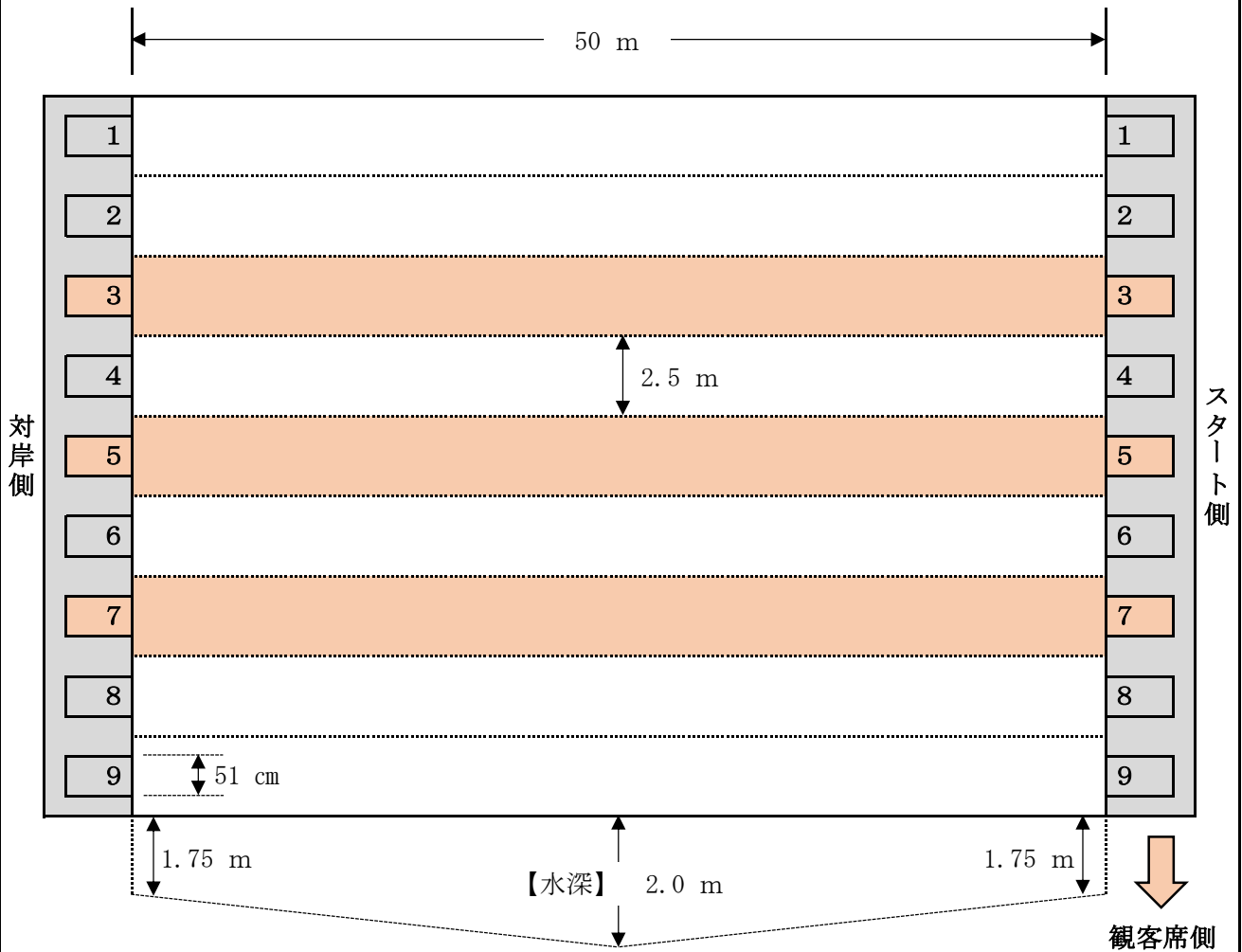
結索環は、沈錘にカラビナ及びベルトで固定して設定します。

なお、浮環結着部の1点がスタート側に向くとは限りません。【写真参照】

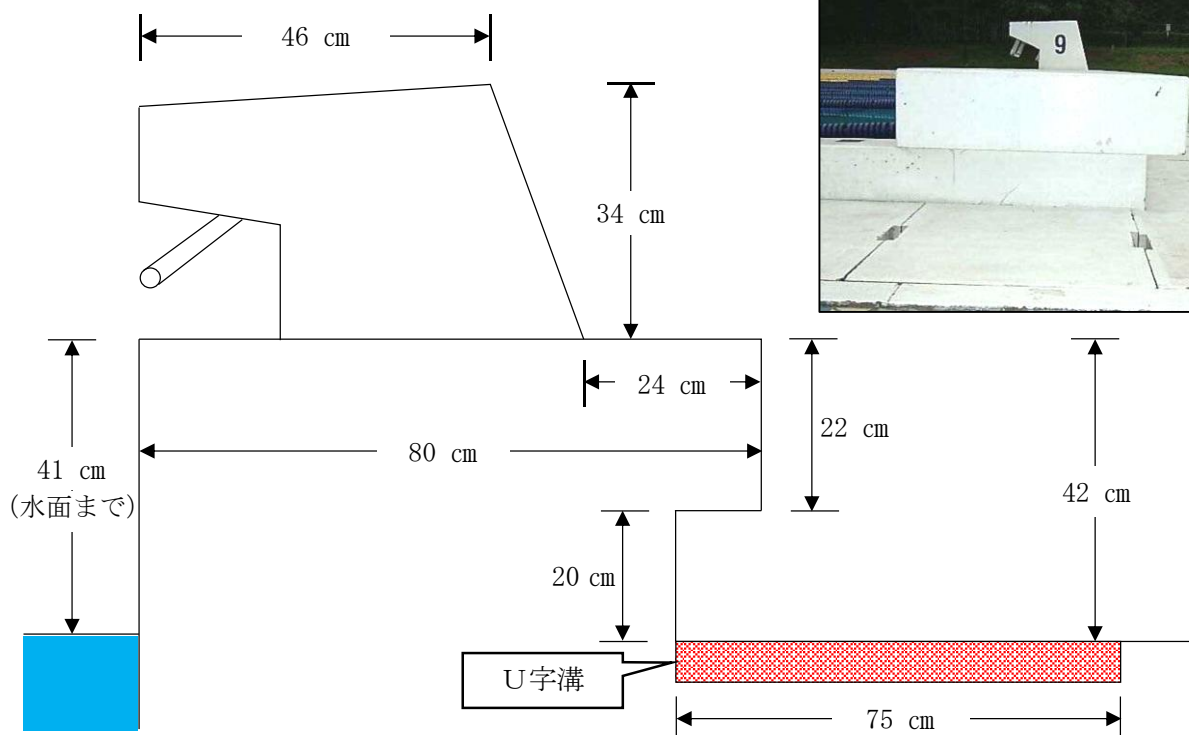


【写真】

【図1】施設概要図 <プール平面図>



【図2】施設概要図 <飛び込み台側面図>



《人命救助》

様式 2-1

氏名左側に○が付いている隊員＝複数の種目に出場
外字標記はできませんので御了承ください。

No.	都県名	消 防 本 部 名	階級	シメイ 氏 名	生年月日	年齢	記 録	
							所要タイム	得 点

《溺者搬送》

様式 2-2

氏名左側に○が付いている隊員＝複数の種目に出場
外字標記はできませんので御了承ください。

No.	都県名	消 防 本 部 名	階級	シメイ 氏 名	生年月日	年齢	記 録	
							所要タイム	得 点

《水中結索》

様式 2-3

氏名左側に○が付いている隊員＝複数の種目に出場
外字標記はできませんので御了承ください。

No.	都県名	消 防 本 部 名	階級	シメイ 氏 名	生年月日	年齢	記 録	
							所要タイム	得 点

《溺者救助》

様式 2-4

氏名左側に○が付いている隊員＝複数の種目に出場
外字標記はできませんので御了承ください。

No.	都県名	消 防 本 部 名	階級	シメイ 氏 名	生年月日	年齢	記 録	
							所要タイム	得 点

隊 員 変 更 届 出 書

審判長

都 県 名		消 防 本 部 名		都 県 連 絡 員 署 名		
陸上・水上(○印)		種 目		組	コース	
変 更 前 (該 当 者 の み)			変 更 後 (該 当 者 の み)			
背 番 号 (陸 上)	階 級	フ リ ガ ナ 氏 名	背 番 号 (陸 上)	階 級	フ リ ガ ナ 氏 名	生 年 月 日 年 齢
届 出 責 任 者						
変 更 理 由						

注 1 変更受付時間 7時30分～8時30分

注 2 「階級」欄は、消防士は「士」、消防副士長は「副士長」、消防士長は「士長」、消防司令補は「司令補」と記入してください。

注 3 「氏名」欄は、楷書で記入し、フリガナを付してください。

注 4 「生年月日」欄は、次の(例)を参考に記入してください。

(昭和例) 昭和52年7月1日生まれ → 「S520701」

(平成例) 平成元年12月5日生まれ → 「H011205」

注 5 「年齢」欄の基準日は、指導会当日(7月17日)

の満年齢とします。(例) 31歳11ヶ月 → 「3111」

注 6 棄権の場合は、変更後欄の氏名欄に「棄権」と記入してください。

配布先	受 付	進 行	招 集	審 判	集 計
担当者 ✓					

訓練施設開放参加調査表

都県名： _____

消防本部名： _____

引率責任者	階 級	氏 名	連 絡 先	mail				
参 加 日	7月8日(水)、7月9日(木)のいずれか希望日を右枠に記入してください。			月 日				
参加時間	時 分 ~ 時 分							
訓練種目 及び 参加人員	種 目 名	種 目 責 任 者		参加人員 (参加種目)	参加チーム数 (団体種目)	乗り入れ車両		
		階 級	氏 名					
				人	チーム	大型バス		台
				人	チーム	常用車		台
				人	チーム	マイクロバス		台
				人	チーム	トラック		台
				人	チーム	合計	0	台
				人	チーム			
				人	チーム			
				人	チーム			
	合 計 種 目	種 目		0 人	0 チーム			
備 考	※ 陸上・水上で1枚ずつ分けて作成して下さい。 ※ 1日につき1枚作成して下さい。 ※ 訓練種目が重複している隊員がいる場合はその旨御記載ください。							